



UCS Server Configuration Utility の起動

UCS Server Configuration Utility (SCU) は 64 ビット Linux カーネルに基づくブート可能イメージで、シスコ ラック サーバで RAID 論理ボリュームの設定、オペレーティング システムのインストール、診断の実施などの操作を実行するために使用できます。これは、一度に 1 つのサーバで実行されるように設計されています。



(注) UCS-SCU は、UCS C220 M3 および C240 M3 サーバの F6 ブート オプションから起動できます。

この章の内容は、次のとおりです。

- [cisco.com からの ISO イメージの取得\(2-1ページ\)](#)
- [UCS-SCU のブート\(2-2ページ\)](#)
- [UCS-SCU の終了\(2-4ページ\)](#)

cisco.com からの ISO イメージの取得

サーバ用の ISO ファイルをオンラインで検索するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 <http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html> に移動します。
- ステップ 2 中央のカラムで [Unified Computing] をクリックします。
- ステップ 3 右側のカラムで [Cisco UCS C-Series Rack-Mount Standalone Server Software] をクリックします。
- ステップ 4 右側のカラムのサーバ モデルの名前をクリックします。
- ステップ 5 [Select a Software Type] リストで、[Unified Computing System (UCS) Server Configuration Utility] を選択します。
[Download Software] ページが表示され、リリース バージョンおよび UCS-SCU イメージが示されます。
- ステップ 6 [Download Now] をクリックして ISO ファイルをダウンロードします。
- ステップ 7 次のページで情報を確認後、[Proceed With Download] をクリックします。プロンプトが表示された場合は、cisco.com の資格情報を使用して、ログインします。
- ステップ 8 次の画面に進んでライセンス契約書に同意し、SCU ISO ファイルを保存する場所を参照します。

UCS-SCU のブート

次のいずれかのオプションを使用して、UCS-SCU アプリケーションを起動できます。

- [仮想メディアの使用 \(2-2ページ\)](#)
- [物理メディアの使用 \(2-3ページ\)](#)

仮想メディアの使用

仮想メディアを使用した UCS-SCU アプリケーションのブートに KVM コンソールを使用できます。

ここでは、次の内容について説明します。

- [KVM コンソールについて \(2-2ページ\)](#)
- [仮想 KVM コンソールの開始 \(2-2ページ\)](#)
- [仮想 KVM コンソールからのブート \(2-3ページ\)](#)

KVM コンソールについて

KVM コンソールは CMC からアクセス可能なインターフェイスであり、サーバへのキーボード、ビデオ、マウス (KVM) の直接接続をエミュレートします。KVM コンソールを使用すると、リモートの場所からサーバに接続できます。



(注) KVM コンソールには、Java Runtime Environment (JRE) バージョン 1.6.0 以降が必要です。

KVM コンソールには次のタブがあります。

- [KVM]: このタブには、アプリケーションの起動時に UCS-SCU アプリケーションが表示されます。
- [Virtual Media]: このタブでは、仮想ドライブに次のものを対応付けることができます。
 - コンピュータまたはネットワーク上の CD/DVD
 - コンピュータまたはネットワーク上のディスク イメージ ファイル (ISO または IMG ファイル)
 - コンピュータ上の USB フラッシュ ドライブ

仮想 KVM コンソールの開始

仮想 KVM コンソールを開始するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1 CMC にログインします。
- ステップ 2 対応する KVM コンソールを起動するサーバ ノードを選択します。
- ステップ 3 [Launch KVM Console] をクリックします。
- 仮想 KVM コンソールにサーバ コンソールが表示されます。
-

仮想 KVM コンソールからのブート

はじめる前に

- cisco.com から UCS-SCU ISO イメージファイルをダウンロードします。イメージをダウンロードする方法については、「[cisco.com からの ISO イメージの取得](#)」セクション(2-1ページ)を参照してください。

仮想 KVM コンソールを使用して UCS-SCU アプリケーションを起動するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1 デスクトップから CMC にログインします。
 - ステップ 2 KVM コンソールを起動するには、[Launch KVM Console] をクリックします。
 - ステップ 3 [Virtual Media] タブをクリックします。
[Virtual Media] タブが開きます。
 - ステップ 4 [Add Image] をクリックします。
 - ステップ 5 ISO ファイルを参照して選択し、[Open] をクリックしてイメージをマウントします。
 - ステップ 6 [Client View] セクションで、追加した ISO ファイルに対応する [Mapped] カラムのチェックボックスを選択して、マッピングが完了するのを待ちます。
KVM コンソールの [Details] セクションに進行状況が表示されます。
 - ステップ 7 CMC で [Power Cycle Server] をクリックしてサーバをリブートします。
 - ステップ 8 サーバが起動したら、**F6** キーを押してブート デバイスを選択します。
ブート選択メニューが表示されます。
 - ステップ 9 [Cisco Virtual CD/DVD] を選択するには、矢印キーを使用し、Enter キーを押します。
サーバは UCS-SCU イメージを使用して起動し、[KVM] タブでアプリケーションを起動します。
-

物理メディアの使用

はじめる前に

- cisco.com から UCS-SCU ISO イメージファイルをダウンロードします。イメージをダウンロードする方法については、「[cisco.com からの ISO イメージの取得](#)」セクション(2-1ページ)を参照してください。
- .iso CD を書き込むアプリケーションを使用して .iso CD 作成します。

物理 CD/DVD を使用してサーバ上でアプリケーションをブートするには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1 USB ポート経由でサーバに USB DVD ドライブを接続します。
 - ステップ 2 DVD ドライブに物理メディアを挿入します。
 - ステップ 3 サーバを再起動し、**F6** キーを押してブート選択メニューを表示します。ブート デバイスとして **CDROM** ドライブを選択します。
サーバは UCS-SCU イメージを使用して起動し、アプリケーションを開始します。
-

UCS-SCU の終了

UCS-SCU アプリケーションを終了するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1 ディスク ドライブからの .iso ディスクを取り出します。
 - ステップ 2 [Reboot] をクリックして、サーバのリブートを確認するために [Yes] をクリックします。
-